



初雁自由政令会 中 原 秀 文

川越駅西口への市長の思い 23



問川越駅西口周辺地区では、今後も人口の増加が予想され、高齢化も進んでいくものと考える。この地区のまちづくりに対する市長の思いやビジョンを伺う。

答市長 川越駅西口周辺地区では、商業業務施設の立地によるにぎわいが創出され、人口は増加傾向にあり、地価も上昇している。このような高いポテンシャルを生かし、道路ネットワークや（仮称）新宿町1丁目広場の整備などを着実に進め、こどもの居場所・遊び場所づくり、雇用の維持・創出、民間活力の導入、道路の整備、高齢者が安心して生きがいを持って住み続けられる地域づくり、防災・減災の推進などを実現していきたい。

川越駅西口地区の諸課題



政策フォーラム 山 木 綾 子

ユースクリニックについて 25



問川越市民サービスステーションの交流スペースを使用するなど、もっと人通りの多い場所で開催できないか。

答こども未来部長 多くの人が訪れやすく、分かりやすい場所での開催は、ユースクリニックの趣旨をこども・若者も含め、市民に知ってもらうきっかけになるものと考える。川越市民サービスステーションの交流スペースのように人通りの多い場所での開催や各種イベントと併せて実施するなど、さまざまな機会を捉えた効果的な実施などについて、関係団体等とも協議しながら、取り組みを進めていきたいと考えている。

姉妹友好都市

ユースクリニック



日本共産党 池 浜 あ け み

子ども親も安心な不登校支援 27



問こどもには学ぶ権利も休む権利もある。不登校児童生徒の休養を保障し、親の会を支え、学校での過度な管理や競争をなくすことが必要と考えるが、教育長の見解は。

答教育長 こどもの最善の利益を第一に考えられるような学校づくりを行っていくことが極めて重要であると考ええる。学校に行けないという時期は、心の回復や自分を見つめ直すなど、積極的な意味もある。不登校のこどもたちには、学校とのつながりを持ちつつ、安心して心の休養ができるような状況を整え、学校に復帰した際には安心して登校できる環境をつくっていく。親の会等との連携についても必要なことであると考えている。

不登校支援

害虫防除の農薬散布



川越志政会 吉 敷 賢 一 郎

魅力ある職場環境を！ 24



問自己都合による退職者は、令和4年度から令和6年度までの2年で2倍以上に増加している。今後も増加が懸念されるが、魅力ある職場づくりに向けた市長の考えは。

答市長 魅力ある職場環境を実現するためには、職員の意欲とやりがいを引き出していくことが重要であり、そのために、庁内公募制度や研修の実施のような職員のやる気を高め、自身の成長を実感できる環境づくりに取り組んでいく。また、引き続き業務の効率化や時間外勤務の削減などに取り組むとともに、軽装勤務の検討など、働きやすい職場環境の整備にも努めていきたいと考えている。

個人情報

退職



初雁自由政令会 吉 野 郁 恵

災害に強い自治体は魅力！ 26



問災害に強い自治体は大きな魅力として発信力が高まってくるのではないかと。災害に強い自治体を目指すために今後どのような災害対策が必要と考えるのか。

答危機管理監 職員一人一人が災害時における自らの役割を理解し、迅速かつ的確に行動するために、情報の伝達方法や手順を明確化したマニュアル等を整備し、定期的に研修や訓練を実施する必要がある。さらに、市民の防災意識の高揚や、自助・共助による防災力の向上も不可欠であることから、今後、このような取り組みを継続的に行うことで、災害に強い自治体を目指していく。

市の災害対応



日本共産党 今 野 英 子

ふれあい入浴券の拡充を 28



問市は、平成22年に利用券の回数を12回から6回に削減。市民から利用回数の増加を望む声があり、高齢者の健康増進のためにも拡充すべきと考えるが、市の見解は。

答福祉部長 本事業は高齢者の健康増進および経済的負担軽減を目的としており、生きがいの向上に寄与するものとするが、近年の利用状況や現在の財政状況に鑑みると、利用回数の増加などの拡充については難しいと考える。



高齢者施策の拡充

暑さ対策